

区分	卦(か)	卦 爻 の 本 文
31	澤山咸	^{かん} 咸は、 ^{とお} 亨る。 ^{ただ} 貞しきに ^よ 利ろし。 ^{おんな} 女を取 ^{めと} るは ^{きち} 吉なり。
	初爻	^そ 其の ^{おやゆび} 拇に ^{かん} 感ず。
	二爻	^そ 其の ^{こむら} 腓に ^{かん} 感ず。 ^{きょう} 凶なり。 ^お 居れば ^{きち} 吉なり。
	三爻	その ^{もも} 股に ^{かん} 感ず。 ^と 執りてそれ ^{したが} 随う。 ^ゆ 往けば ^{りん} 吝なり。
	四爻	^{ただ} 貞しければ ^{きち} 吉にして ^{くいほろ} 悔亡ぶ。 ^{しょうしょう} 憧憧として ^{おうらい} 往来すれば、 ^{とも} 朋 ^{なんじ} 爾の ^{おも} 思いに ^{したが} 従う。
	五爻	その ^{せじし} 臑に ^{かん} 感ず。 ^{くい} 悔なし。
	六爻	その ^{ほきょうぜつ} 輔 ^{かん} 頰舌に ^{かん} 感ず。

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田 真治、後藤 基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。